

臨床研究概要

整理番号 13-6-08

研究課題名

心血管疾患患者における網羅的遺伝子解析研究

目的と意義

日本を含む途上国での死因一位は心血管疾患である。その原因となる動脈硬化性疾患(高血圧、脂質異常症や糖尿病等)は多因子遺伝性疾患と考えられている。2003年のヒトゲノム配列解読完了により網羅的遺伝子マーカーを用いた研究が急速に進歩した。そこで、動脈硬化疾患を基礎疾患とした心血管疾患を持つ患者における網羅的遺伝子検索を DNA マイクロアレイ法により遺伝子発現パターン等の詳細に解析し発病メカニズムや再発予防効果を比較検討する事である

適格基準

動脈硬化性疾患を有する心血管疾患(虚血性心臓病、心不全等)患者が対象となる。性別:問わない。年齢:20歳以上。文書による患者の同意:あり。

方法

対象者は、入院時の一般採血の際もしくはカテーテル検査の際に採血をさせて頂く。採血量は5-7mlである。PAXgene Blood RNA kitを用いて白血球中のRNAを抽出する。その後、GeneChip Human Genome U133 Plus 2.0を用いて50400種類の遺伝子発現を網羅的に解析する。

評価項目

得られた網羅的な遺伝子解析は専用解析ソフト(Ingenuity Pathway Analysis)を用いてシグナル伝達や分子ネットワーク、生物学的機能評価を行う。

目標症例数:30例

試験予定期間:承認日より2014年12月31日まで

主幹機関・研究協力病院:なし